

レポーター：こちらの作品はどういったものになるんですか。

学芸員：はい。これは今から約 2500 年くらい前ですね、紀元前 6 世紀頃の古代ギリシャで制作された黒絵式アンフォラという焼き物の壺です。

レポーター：黒絵式アンフォラ…。アンフォラって一体どういったものになるんですか。

学芸員：アンフォラってギリシャ語なんですけども、意味としては 2 つの大きな取っ手を持った壺という意味があるみたいですよ。

レポーター：ふうーん。こういった形状のものは、すべてアンフォラっていう、呼ばれるんです。と、黒絵式。

学芸員：黒絵式というのはもう、器に施す装飾技法のことで、あの黒い絵の具をですね、主体にそういう装飾を施したものです。そういったものをいいます。

レポーター：これは黒い絵の具で上から描かれているんですか。

学芸員：そうです。まず、赤い地を塗った後に、黒で輪郭をとってですね。で、その服装の文様なんかをこうひっかくようにして、描いてあるんです。

レポーター：削って作られているんです。

学芸員：そうです。

レポーター：すごい繊細ですよ。

学芸員：そうですね。

レポーター：この作品を見るのに、なんかこうポイントだったり、面白さだったりあるんですか。

学芸員：そうですね、こちらに描かれているのは 6 人のですね、戦士が戦っている絵柄なんです。で、何の絵なのかわかっていないんですけども、だいたいアンフォラに描かれる文様っていうのは、ギリシャ神話ですね、とか、英雄伝説といったものに基づいた題材のものがあつたんですよ。これもおそらく神話に出てくる戦争の場面であるとか、そういったものなのかもしれません。

レポーター：そうなんです、その当時の様子が描かれているかもしれないし、神話なのかもしれないという、ちょっとわからないというのがミステリアスで面白いですよね。

学芸員：実際、この甲冑をかぶっている戦士の甲冑というのは、まったく同じものが古代ギリシャの遺跡から出てきたりとか、あと中央で戦っているのはこれ女性なんですけども、知恵と戦いの神といわれたアテナという女神ですね、ではないかというふうに考えられています。

レポーター：そうなんです。一つ一つ見ると、すごく文様も繊細ですし、その当時の様子だったり、神話の様子だったりとか伺えるのが、とってもきれいな作品ですね。

学芸員：そうですね。